

平成20年度貯水槽水道に関するシンポジウム

(厚生労働科学研究費研究成果等普及啓発事業)

ご 案 内

1. 趣旨

ビルやマンションの増加に伴い、市民の多くが貯水槽水道の水を飲んでおり、その安全性の確保が大きな課題となっている。貯水槽水道は、設置者、管理者がその管理を行う責務を担っており、その理解と協力が欠かせないが、特に小規模貯水槽水道の受検率が極めて低い等多数の問題を抱えている。

昨年度に引き続き、「水道週間」に協賛し、貯水槽水道の設置者、利用者（一般市民）の間で、適切な管理に関する理解を深め、その推進を図ることを目的としてシンポジウムを開催する。本年度は、特に、厚生労働科学研究において提案しようとしている「ランキング制度」について論議を深め、今年度の研究事業に一般市民の声を反映させることとしたい。

2. 開催日

平成20年7月15日（火） 13:30～16:30（受付：13:00～）

3. 開催場所

航空会館（7階702+703会議室）東京都港区新橋1-18-1
TEL 03-3501-1272 JR・銀座線新橋駅（日比谷口）、別添地図参照

4. 実施主体

水安全計画による貯水槽水道の管理水準の向上に関する研究委員会
全国給水衛生検査協会
(社)全国建築物飲料水管理協会
(財)日本公衆衛生協会

5. 後援

厚生労働省（申請中）
(社)日本水道協会
(社)高層住宅管理業協会
全国管工事業協同組合連合会
日本水道新聞社
水道産業新聞社

6. シンポジウムの内容

貯水槽水道に関するシンポジウム

(1) 基調講演

① 貯水槽水道の現状と問題点及びランキング制度の提案

講師 早川 哲夫 麻布大学大学院教授（本研究主任研究者）

② 貯水槽水道の構造と管理のあり方について

講師 平田 正幸 日本給水タンク工業会技術委員長

(2) パネルディスカッション

テーマ：「貯水槽水道の安全・安心を考える」

パネリスト：

- ・学識経験者

麻布大学大学院教授

早川 哲夫

- ・マスコミ関係者

日本水道新聞社

龍崎 千遙

- ・厚生労働省水道課水道水質管理室長

滝村 朗

- ・地方自治体の代表

横浜市環境創造局環境保健部規制指導課課長補佐

本間 豊

- ・マンションの管理事業者の代表

(株)東急コミュニティー 技術センター所長

大野 勲

- ・簡易専用水道登録検査機関

(社)京都微生物研究所環境衛生部長

湯浅 義三

7. 申込方法（無料）

機関名、ご氏名、ご連絡先、TEL、FAX、E-mail をご記入の上事務局 FAX:044-270-4376

宛お申し込み下さい。

※申込み後、参加証をご送付いたします。当日ご持参お願いいたします。

8. 締切

平成20年6月30日(月)

但し、満員になり次第お断りしますのでご了承下さい。(定員130名)

9. 問合せ先

全国給水衛生検査協会

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6

事務局担当 鈴木 保美 ・ 大和田いづみ

TEL：044-270-4375

FAX：044-270-4376

FAX 送信先：044-270-4376
全国給水衛生検査協会事務局宛

貯水槽水道に関するシンポジウム参加申込み

貯水槽水道に関するシンポジウムの参加につきまして、
下記のとおり申し込みます。

◇参加者機関名： _____

◇参加者名： _____

◇ご住所（勤務先）：〒 _____

◇TEL： _____

◇FAX： _____

◇E-mail： _____

※申込み後、参加証をご送付いたします。当日ご持参お願いいたします。
送付先： FAX E-mail （どちらかに○を付けてください。）

（注記）
記入した個人情報は、参加証の送付のみに限定し使用

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1 航空会館

電話 03-3501-1272 FAX 03-3591-7789

JR新橋駅 日比谷口 (機関車のある出口) 徒歩5～6分前後

地下鉄新橋駅 ⑦出口 東京メトロ (旧営団) 銀座線 / 都営浅草線

地下鉄内幸町駅 A2出口 都営三田線

航空会館には時間貸し駐車場はありません

